



KWC セフティクランプ

呼び名	クローム	1個当たり安全目安重量
30	¥1600	◀ 5kg



KWS セフティワイヤーセット チャンネル用 (ワイヤー部品・荒川技研工業株式会社製)

サイズ	ステンレス	1本当たり安全目安重量
2000mm	¥4900	◀ 5kg



KWP セフティワイヤーセット ベッカー用 (ワイヤー部品・荒川技研工業株式会社製)

サイズ	ステンレス	1本当たり安全目安重量
2000mm	¥5000	◀ 5kg

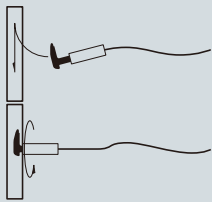


※KWC-KWS-KWPのご使用目的は地震時の陳列商品の落下防止(または抑制)ですが、上記掲載の安全目安重量は陳列商品を約30cm落下させてワイヤーに最大トルクが掛かるテストを行い、その破壊重量の20%を掲載しております。陳列商品がスリップした場合の目安重量では無い事をあらかじめご了承ください。

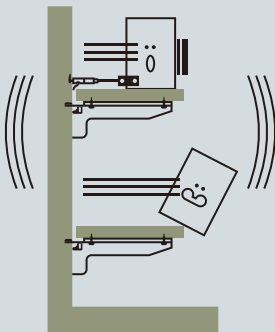
セフティワイヤーシステム装着手順(①②③④の手順で装着してください)

セフティワイヤーセット ストッパー(無調整側)の装着方法

- ① あらかじめ爪ボルトをゆるめた状態で、サポートの任意位置に図の様に挿入装着し、本体をしめこんで固定してください。(その際ワイヤーがよじれない様ご注意ください)

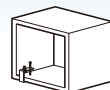


セフティワイヤーセットについて



セフティワイヤーシステムは陳列商品落下の危険性を最小限に抑えるための安全補助製品です。地震などの際、陳列商品の落下を未然に防ぐ効果がありますが、**安全を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。**

ボックスなどのつなぎ方例



クランプをしめこんで固定する



ボックスの様な箱物は自立しない位置に、図の様にしめこんで固定してください。

トルソーなどのつなぎ方例

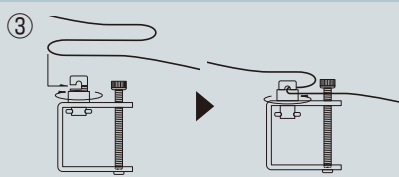


クランプを開いて施錠状態にする



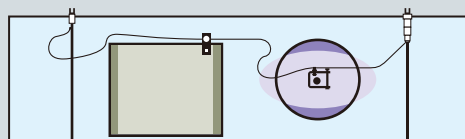
トルソーの様なスタンド式の陳列物は、図の様に施錠する様に閉じてご使用ください。

セフティクランプのセフティワイヤーへのつなぎ方



左図の様にホルダー部のナットをゆるめてワイヤーを引っ掛け、ナットを元に戻してワイヤーが中で動く状態で使用ください。(ワイヤーの固定は逆に地震の際転倒の恐れが高まりますので、中で動く様設計されております。また、ホルダー部も自由に回転します)

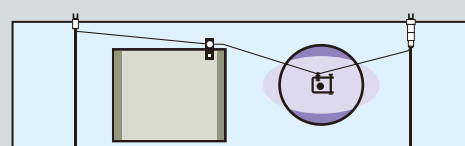
セフティクランプをセフティワイヤーにつないだ例(長さ調整する前)



必ず陳列商品正面に対して、後から引っ張る様設置してください。(スリット逆仕様の場合は下図の様にワイヤーを棚下から回して設置してください)

スリット逆仕様の場合はワイヤーを棚下から回してください。(スリットパイプなどを前面に設置した例)

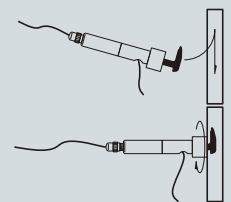
設置完了例(長さ調整後)



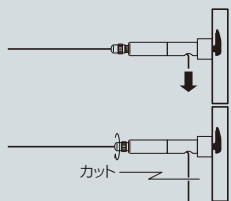
ある程度ワイヤーを張った状態で設置完了です。(たわんだ状態では落下防止の効果は極端に低くなります)なおワイヤーをゆるめたい場合はグリッパー側の先端ナットをはずし、中の雄ネジ部分を押し込んで行ってください。

セフティワイヤーセットグリッパー(長さ調節機能付き側)の装着方法

- ② 先端のナットと爪ボルトをあらかじめゆるめた状態で、サポート任意位置へ下図の様に挿入装着し、根元部分のナットのみをしめこんで固定してください。(その際ワイヤーがよじれない様ご注意ください)



- ④ 最後にグリッパー側のワイヤーを引っ張って適当な長さに調節し、先端のナットをしめこんでワイヤーを固定してください。(あまったワイヤーはワイヤーカッターで切断してください)



OTHERS

- ミラーエッジ枠
- コーナーエッジ
- コーナーコート
- フィッサー
- ストックルームシステム
- テーブル脚
- ロボポイント
- ゴルフ
- ディスプレイスタンド
- こぼれ止め
- スラックリガー
- パネル用プラケット
- 安全
- ターンパイプ
- メンテナンス